



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年11月2日  
東

上場会社名 株式会社ダイショー 上場取引所  
 コード番号 2816 URL <http://www.daisho.co.jp>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 松本 洋助  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部総務人（氏名） 堀脇 裕之 (TEL) 092-611-9340  
 事部長兼広報室長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 平成27年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	8,896	3.1	130	17.9	125	15.5	64	15.4
27年3月期第2四半期	8,626	2.2	111	△28.4	108	△32.0	56	△36.5
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年3月期第2四半期	6.71		—					
27年3月期第2四半期	5.81		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	14,360	7,406	51.6
27年3月期	13,979	7,414	53.0

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 7,406百万円 27年3月期 7,414百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
28年3月期	—	8.00			
28年3月期(予想)			—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,700	5.6	500	15.7	500	15.3	280	2.6	29.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年3月期2Q	9,868,800株	27年3月期	9,868,800株
28年3月期2Q	215,999株	27年3月期	215,999株
28年3月期2Q	9,652,801株	27年3月期2Q	9,652,841株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和政策を背景に、企業収益の改善や雇用情勢の好転など、景気の緩やかな回復が見られるものの、中国や新興国経済の成長鈍化など、海外景気の下振れリスクもあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

食品業界におきましては、消費者の生活防衛意識は変わらず、節約・低価格志向が恒常化するなかでの販売競争が熾烈化する一方、輸入原材料価格の高騰や物流コストの上昇により収益が圧迫され、厳しい経営環境が続きました。

このような状況のもと、当社は、長期的な視野に立った持続的成長を目指し、市場開拓の強化と経営の効率化に取り組んでまいりました。当社の強みである開発力を生かし、世の中の「簡単・簡便」ニーズを捉えた、特徴ある新製品拡充に努めるとともに、対象素材を明確にしたメニュー提案での関連販売により、小売用製品・業務用製品ともに積極的な売上の拡大に努めてまいりました。

製品群別の概況は、以下のとおりであります。

液体調味料群においては、小売用製品では、春夏市場に向け新たに投入した、本格的な味わいが楽しめる専用調味料が売上を牽引いたしました。秋冬市場に向けては、「素材を生かす和風鍋」をコンセプトに、老舗料理店「なだ万」監修の鍋用セットなど、だしにこだわった和風系鍋スープのラインアップを拡充いたしました。業務用製品では、販売・サポート体制の充実と販売強化策が奏功し、大きく売上を伸ばしました。この結果、売上高は57億93百万円（前年同期比104.8%）となりました。

粉体調味料群においては、小売用製品では「味・塩こしょう」類が好調に推移し、業務用製品も精肉向けを中心に順調に売上を伸ばしました。この結果、売上高は20億83百万円（前年同期比104.2%）となりました。

その他調味料群においては、即食向け製品の「スープはるさめ」類は、ラインアップの充実により堅調に推移いたしました。売上高は10億19百万円（前年同期比92.7%）となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は、88億96百万円（前年同期比103.1%）となりました。利益につきましては、増収を達成するなかで製造コスト及び販売コストを抑制し、効率化を進めたことにより、営業利益は1億30百万円（前年同期比117.9%）、経常利益は1億25百万円（前年同期比115.5%）、四半期純利益は64百万円（前年同期比115.4%）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ3億81百万円増加し、143億60百万円となりました。固定資産が総資産の59.5%を占め、流動資産は総資産の40.5%を占めております。主な資産の変動は、「受取手形及び売掛金」が6億20百万円、「商品及び製品」が2億90百万円増加し、「現金及び預金」が1億81百万円、「リース資産」が1億4百万円減少したことによります。

負債は、前事業年度末に比べ3億88百万円増加し、69億53百万円となりました。流動負債が負債合計の67.5%を占め、固定負債は負債合計の32.5%を占めております。主な負債の変動は、「買掛金」が3億32百万円、「短期借入金」が3億円増加し、「未払消費税」が1億55百万円、「長期借入金」が1億50百万円減少したことによります。

純資産は、前事業年度末に比べ7百万円減少し、74億6百万円となりました。主な純資産の変動は、剰余金の配当77百万円の支出と四半期純利益64百万円の計上により「利益剰余金」が12百万円減少したことによります。自己資本比率は51.6%となり、前事業年度末に比べ1.4%下降しました。

#### ②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、13億60百万円となり、前事業年度末に比べ1億81百万円減少いたしました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益1億23百万円、減価償却費3億89百万円、仕入債務の増加額3億32百万円等による資金の増加と、売上債権の増加額6億20百万円、たな卸資産の増加額2億86百万円等による資金の減少により、前年同期比で1億29百万円支出減の63百万円の純支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出26百万円等により、前年同期比で1億42百万円支出減の31百万円の純支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入れによる純収入3億円と、長期借入金の返済1億50百万円、リース債務の返済1億59百万円等の支出により、前年同期比で2億16百万円支出増の86百万円の純支出となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期決算短信(平成27年5月8日公表)において発表いたしました通期の業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産または流動負債として繰延べる方法を採用しております。

② 税金費用の計算

当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実行税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,542	1,360
受取手形及び売掛金	2,361	2,982
商品及び製品	536	827
原材料	358	352
その他	372	315
貸倒引当金	△24	△29
流動資産合計	5,147	5,810
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,772	2,682
土地	2,529	2,529
リース資産(純額)	1,333	1,228
その他(純額)	1,220	1,132
有形固定資産合計	7,855	7,572
無形固定資産	90	77
投資その他の資産		
投資その他の資産	890	902
貸倒引当金	△4	△3
投資その他の資産合計	885	899
固定資産合計	8,831	8,549
資産合計	13,979	14,360
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,343	1,676
短期借入金	800	1,100
未払金	889	998
未払法人税等	55	79
賞与引当金	332	352
役員賞与引当金	20	10
その他	646	479
流動負債合計	4,087	4,696
固定負債		
長期借入金	225	75
退職給付引当金	404	419
役員退職慰労引当金	595	618
その他	1,253	1,144
固定負債合計	2,478	2,257
負債合計	6,565	6,953

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	870	870
資本剰余金	379	379
利益剰余金	6,242	6,230
自己株式	△114	△114
株主資本合計	7,378	7,366
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	35	40
評価・換算差額等合計	35	40
純資産合計	7,414	7,406
負債純資産合計	13,979	14,360

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	8,626	8,896
売上原価	5,083	5,203
売上総利益	3,542	3,692
販売費及び一般管理費	3,431	3,562
営業利益	111	130
営業外収益	20	8
営業外費用	22	13
経常利益	108	125
特別損失	0	2
税引前四半期純利益	108	123
法人税、住民税及び事業税	52	58
四半期純利益	56	64



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	108	123
減価償却費	410	389
賞与引当金の増減額(△は減少)	△31	20
売上債権の増減額(△は増加)	△448	△620
たな卸資産の増減額(△は増加)	△335	△286
仕入債務の増減額(△は減少)	189	332
その他	16	29
小計	△89	△12
法人税等の支払額	△89	△40
その他	△14	△11
営業活動によるキャッシュ・フロー	△193	△63
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△169	△26
その他	△4	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△173	△31
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	600	300
長期借入金の返済による支出	△230	△150
リース債務の返済による支出	△163	△159
配当金の支払額	△77	△77
財務活動によるキャッシュ・フロー	129	△86
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△237	△181
現金及び現金同等物の期首残高	1,448	1,542
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,210	1,360

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

該当事項はありません。